



報告します!

政務活動費

政務活動費とは?

町政の課題および町民の意思を町政に反映させる活動等に必要経費の一部を補助するために町から支払われる費用のことです。本町では条例により、毎年度、会派の所属議員1人あたり月5,000円を交付しています。

(円)

会派名	交付額 (A)	支出額 (B)	内 訳						町への 返還額 (A) - (B)
			調査 研究費	研修費	広報 広聴費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	
親和会(6人)	330,000	289,856	223,900	0	0	0	0	65,956	40,144
清流会(4人)	220,000	206,550	125,290	81,260	0	0	0	0	13,450
公明党東浦(2人)	110,000	110,000	102,200	0	0	0	0	7,800	0
庶民倶楽部(山田眞悟)	55,000	30,471	0	21,330	0	0	0	9,141	24,529
日本共産党ひがしうら(杉下久仁子)	55,000	11,100	0	0	11,100	0	0	0	43,900
町民ファーストの会(長坂知泰)	55,000	42,402	0	17,500	13,902	0	0	11,000	12,598
高志会(森靖広)	55,000	0	0	0	0	0	0	0	55,000
合 計	880,000	690,379	451,390	120,090	25,002	0	0	93,897	189,621

活動期間：令和5年5月1日～令和6年3月31日

調査研究費 会派が行う町の施策、地方行財政等に関する調査研究(視察を含む)および調査委託経費

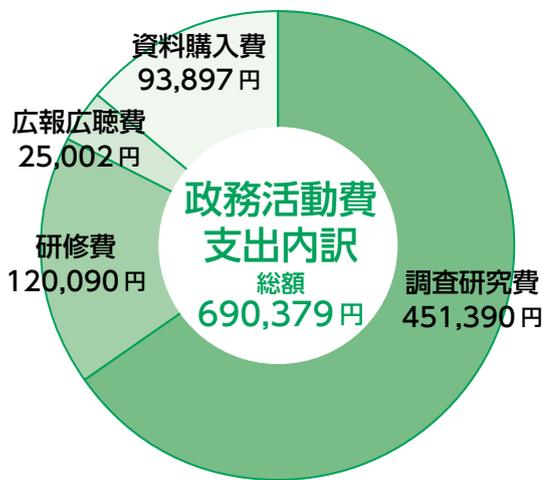
研修費 会派が行う研修会、講演会等の実施(共同開催を含む)経費および団体等の研修会(視察を含む)、講演会等への所属議員の参加経費

広報広聴費 会派の活動の広報紙発行経費

会議費 会派の各種会議、住民相談会等の経費および団体等の意見交換会等各種会議への会派としての参加経費

資料作成費 会派の活動に必要な資料の作成経費

資料購入費 会派の活動に必要な図書、資料等の購入、利用等の経費



親和会



「議員のなり手不足対策・町民の皆さんに興味を持って頂ける議会」を目指して全議員で取り組んでいた。
2カ月に1回各地区順番に向き、「おしゃべりカフェ」を開催。スーツ等ではなく普段着で参加している。
親和会として、住民と語れる場所作りができないかを検討することにした。

令和5年11月2日
議会のあり方検討委員会の取り組みについて
神奈川県足柄上郡山北町
あしがらみけん

令和5年11月1日
東京臨海広域防災公園
東京都江東区有明
防災学習施設「そなエリア東京」の防災体験ゾーンにおいて、タブレット端末を使用し、クイズに答えながら生き抜く知恵を学ぶ「東京直下72hTOUR」を体験した。

令和5年7月31日、8月1日
第2回市町村議会議員
特別セミナー

全国市町村国際文化研修所

変化がある時がチャンス①人口減少地域で起きること②Z世代とこれからのまちづくり等働き手が減少する中、縮小するのではなくチャレンジする人や機会を増やすことの必要性等、今後に生かすべき内容でした。

令和6年2月8日

議会活性化による議会改革

福井県大飯郡おおい町議会

議員報酬の検討が、町民の負託に応えられているのかを議論した結果「議会IT化」「議会BCP策定」等を実現し、議会改革につながった。



令和6年2月9日

すくすくおばまっ子

福井県小浜市子ども未来課

「健康管理センター」による子育て計画・子育て応援・健康増進の一体的運営と活用の実施状況は今後の参考となった。

公明党東浦

令和5年7月10日
循環の町づくり

福岡県三潴郡大木町

平成20年8月「大木町もったいない宣言」を公表した。「おおいき循環センターくるるん」で生ごみを分別・発酵して堆肥化した液肥を農地へ還元。また行政と住民で徹底的なごみゼロの挑戦や環境学習の取り組み、家庭から出る紙おむつを分別・資源化の取り組みを推進している。



▲他市町の議員と合同視察

令和5年7月11日

エネルギーの地産地消他

福岡県みやま市

平成27年3月日本初の自治体による低圧電力売買を目的とした会社「みやまスマートエネルギー(株)」を設立。再生可能エネルギーの地産地消で地域の活性化とサービスの充実を推進している。先進的な数々の取り組みを学び、有意義な視察となった。

庶民倶楽部

令和5年11月20日、21日
防災と議員の役割

全国市町村国際文化研修所

重大災害時、地方議員としての災害対策の取り組み方、体験を交えた講義は大変参考となった。講義最終日には全国から集まった地方議員同士のワークショップ(グループ討議)で災害時での議員の役割は大変重要であることを再認識した。



令和5年12月22日

中京大都市圏つくりシンポジウム

名古屋栄ガスビル・ガスホール

「生活の質が高く持続可能な中京大都市圏の成長戦略」コンパクトなネットワーク少子化・高齢化に向く「をテーマにシンポジウムが開かれた。平成28年策定の第2次中部圏広域地方計画を継承し、スーパー・メガリージョンのセンターとして首都圏の持つ社会経済的な機能を実現するため、中京大都市圏成長戦略について考えていこうと呼びかけるシンポジウムであった。

町民ファーストの会

令和6年1月10日、11日
市町村議会議員研修

「自治体財政の見方」

「健全化判断比率を中心に」

全国市町村国際文化研修所

関西学院大学専門職大学院教授の稲沢克祐氏による講義があり、教授は、これからの地方財政の課題を国際残高増加、人口減少、高齢化に求め、被統治者(議会)が財政を予算を通じてコントロールする「財政民主主義」が必要と説かれた。

令和6年1月22日、23日

第3回市町村議会議員

特別セミナー(オンライン受講)

全国市町村国際文化研修所

東京大学大学院 瀬地山角教授ほか3人の講師により4講義が行われた。瀬地山角教授は、「ジエングー論で笑って少子高齢化時代を乗り切ろう」と題し男女ともに正規雇用で終身働けば、社会問題は解決可能とした。

